

みずほCustomer Desk Report 2023/05/24号 (As of 2023/05/23)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	138.45
TKY 9:00AM	138.66	1.0812	149.81	GBP/USD	1.2434
SYD-NY High	138.91	1.0820	150.00	AUD/USD	0.6649
SYD-NY Low	138.25	1.0761	149.13		
NY 5:00 PM	138.60	1.0771	149.25		
	終値	(前日比)	終値	(前日比)	
NY DOW	33,055.51	▲ 231.07	日本2年債	▲0.0600%	0.0100%
NASDAQ	12,560.25	▲ 160.53	日本10年債	0.3900%	0.0100%
S&P	4,145.58	▲ 47.05	米国2年債	4.3181%	▲0.0005%
日経平均	30,957.77	▲ 129.05	米国5年債	3.7418%	▲0.0228%
TOPIX	2,161.49	▲ 14.41	米国10年債	3.6967%	▲0.0210%
ソコ日経先物	30,725.00	▲ 515.00	独10年債	2.4630%	0.0140%
ロンドンFT	7,762.95	▲ 8.04	英10年債	4.1585%	0.0965%
DAX	16,152.86	▲ 71.13	豪10年債	3.6430%	0.0550%
ハンセン指数	19,431.25	▲ 246.92	USDJPY 1M Vol	10.95%	0.25%
上海総合	3,246.24	▲ 50.23	USDJPY 3M Vol	10.43%	0.12%
NY金	1,974.50	▲ 2.70	USDJPY 6M Vol	10.39%	0.04%
WTI	72.91	0.86	USDJPY 1M 25RR	▲1.52%	Yen Call Over
CRB指数	261.21	▲ 0.37	EURJPY 3M Vol	9.77%	0.09%
ドルインデックス	103.49	0.29	EURJPY 6M Vol	10.03%	0.02%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月23日	22:45	米 製造業PMI・速報	5月 48.5	50.0
	22:45	米 サービス業PMI・速報	5月 55.1	52.5
	22:45	米 コンポジットPMI・速報	5月 54.5	53.0
	23:00	米 新築住宅販売件数	4月 683k	665k
	23:00	米 リッチモンド連銀製造業景況指数	5月 -15	-8

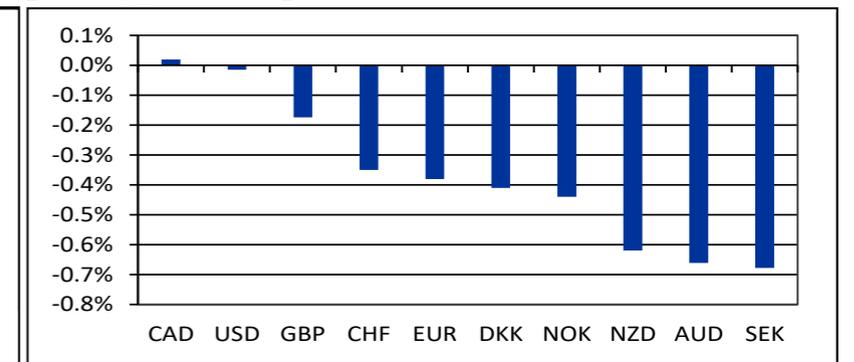
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月24日	15:00	英 CPI(前月比/前年比)	4月 0.7%/8.2%	0.8%/10.1%
	17:00	独 IFO企業景況感指数	5月 93.0	93.6
	17:00	独 IFO(期待/現況)指数	5月 91.6/94.7	92.2/95.0

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	137.00-140.00	1.0700-1.0850	148.00-150.00

【マーケットインプレッション】

昨日海外市場のドル/円は、138円台にてもみ合いの展開となった。欧州時間には東京時間の流れを引き継ぎ円買いの流れから138円台前半で安値を更新する場面も見られた。一方で、NY時間に入ると、米FRB高官のタカ派発言等を受けて、ドル買いが強まり139円に迫る水準まで上昇、年初来高値を更新する場面も見られた。しかし、139円台には届かず、その後は米金利の低下なども手伝い138円台での推移が継続した。
本日も引き続き138円台を中心としたもみ合いの継続を予想。米債務上限問題の交渉継続を受けて、ドル/円は動きづらい相場が続いており、本日も進展がなければここ数日の流れを引き継ぐもみ合いの展開となりそう。または、139円が重しとなっているので、交渉が更に長引くようであればドル/円は138円を割り込むような展開となりやすいか。

東京	東京時間のドル円は、138.66レベルでオープン。序盤からドル売り優勢の展開となったが仲値通過後に反転すると138.88まで上昇。しかし正午頃、本邦政府から半導体輸出規制強化について報じられると、日本株が急落。ドル円も連れ安となり138.36をつけ、138.48レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、138.48レベルでオープン。全般にドル買いの中で、ユーロ圏5月製造業PMIの速報値が予想を下回り、ユーロやポンドが下落しクロス円は重い。ドル円は動意薄となり結局138.44レベルでNYに渡った。なお本日ハンガリー中銀の政策発表があり、政策金利の翌日物預金金利の1%利下げがなされた。
ニューヨーク	海外市場のドル円は138円台半ばでスタート。日経平均指数が引き続き堅調な展開を受け、リスクオンの円売りから138.90手前まで上昇するも、本邦の半導体規制報道が嫌気され、138円台半ばまで反落。その後は138.40付近を挟んだ推移が続き、138.44レベルでNYオープン。朝方はカンナリ・ミネアポリス連銀総裁の「もしインフレ率が高止まりした場合、追加利上げが必要となる」との発言から利上げ期待が強まり、高値の138.91まで上昇する。しかし、その後「米財務省が複数の政府機関に対し、一部の支払いで柔軟な対応が可能かどうかを文書で尋ねた」とのヘッドラインが伝わると、米金利低下に伴い138.34まで急落。午前中に発表されたS&Pグローバル米5月製造業PMIは予想より悪化するも、サービス業PMIとコンポジットPMIが予想を上回り、小幅上昇する。続いて発表された米4月新築住宅販売件数は予想より良好な結果になるも影響薄。その後は安値138.29まで値を下げるも、米債務上限問題を巡って「23日に再び交渉を再開」とのヘッドラインに反応し、138円台後半まで値を戻す。午後は米債務上限問題にて進展の無い展開を背景に下落し、138.50付近を挟んだ推移が続き、138.60レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.08台前半でスタート。1.08台前半での推移後、ユーロ圏5月HCOBサービス業PMIは予想を上回るも、製造業PMIとコンポジットPMIが予想より悪化する内容を受け、1.07台後半まで売られ、1.0774レベルでNYオープン。朝方は一連の米経済指標結果を受け1.0795まで上昇するも、長続きはせず1.0761まで下落。午後は米金利が低下する中、小幅反発し、1.0766レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:尾身・大橋